

NTT西日本沖縄支店・ほっともっと沖縄地区本部 特別協賛

第46回新報児童オリンピック少年サッカー大会

【大会要項】

- 1 趣旨 沖縄県で学ぶ児童の健やかな成長を願い、各種スポーツ活動を通じて、児童の健全なる心身発達とスポーツの普及発展に寄与するものとする。また、大会を通しサッカー競技の底辺の拡充を図るものとする。
- 2 名称 第46回新報児童オリンピック少年サッカー大会
- 3 主催 琉球新報社、（一社）沖縄県サッカー協会
- 4 共催 （公財）沖縄県スポーツ協会
- 5 主管 （一社）沖縄県サッカー協会 4 種委員会
- 6 後援 沖縄県
沖縄県総合運動公園管理事務所（指定管理者：株式会社トラステック）
- 7 特別協賛 NTT西日本沖縄支店、ほっともっと沖縄地区本部
- 8 協賛 スポーツデポ
- 9 大会期日 各地区大会 2026年 8月30日（日）迄に各地区代表チーム選出できるよう、各地区にて開催
沖縄県大会
【参加申込期限】 各地区大会開始日の14日前 （KICKOFF選手・役員登録完了期限）
【1日目：予選ラウンド】 2026年 9月12日（土） 沖縄県総合運動公園蹴球場
【2日目：決勝ラウンド】 2026年 9月13日（日） 沖縄県総合運動公園蹴球場
【予備日】 なし
【代表者会議】 2026年 9月9日（水） 20:00 ZoomによるWeb会議
【開会式】 行わない
【閉会式】 2026年 9月13日（日） 15:00(プレミア)/16:00(ブンデス) 沖縄県総合運動公園蹴球場
（決勝戦進出各2チームが参加。3位チームの表彰は準決勝終了時に実施）
- 10 大会会場 沖縄県総合運動公園蹴球場
- 11 参加資格 ① 大会実施年度に（公財）日本サッカー協会（以下JFAとする。）「第4種」の種別で加盟登録を行ったチーム（以下、加盟チームとする）であること。選手は小学4年生以下であること。
② 選手は2026年度スポーツ安全保険に加入していること。
③ 同一加盟チームで複数チームの参加を認める。ただし地区大会開始日以降の選手の組替えは認めない。
④ ①に該当するチームでの合同チームでの参加を認める。ただし、合同チームでの複数チームでの参加は認めない。
- 12 参加チーム 参加チームは、以下により選出された48チームで行う。
① 各地区代表48チーム（島尻9 那覇10 浦添5 宜野湾市3 沖縄市6 北中頭7 北部4 宮古2 八重山2）
- 13 大会形式 出場48チームを2ブロック(ブンデスブロック、プレミアブロック)に分ける。ブロックごとに優勝を決定する。
① 予選ラウンド：各ブロック、3チームごとの8グループに分け、リーグ戦を行う。
なお、同地区同士は、1次ラウンドでは同グループでは対戦しない。
② 予選ラウンドにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
（1）全試合の得失点差（総得点－総失点）
（2）全試合の総得点
（3）当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
（4）（1）から（3）の全項目において同一の場合は、抽選により決定す（抽選時、抽選札を引く順番から決定する）
③ 決勝ラウンド：各ブロック予選ラウンドグループ1位となった計8チームによるトーナメント方式にて優勝チームを決定する。
- 14 組合せ ① 組合わせは4種委員会により、地区大会順位、地区バランス等を考慮し決定され、代表者会議にて公開される。
② 各地区大会上位チームを『シード』とし、予選ラウンド組合せにおいて考慮する。
③ 各地区大会下位チームの順位は組み合わせに反映しない。
- 15 競技規則 大会実施前年度のJFA「サッカー競技規則」およびJFA「8人制サッカー競技規則」による。
但し、細則については、4種用として競技会規定を定める。決定は4種委員会の内容による。

16 競技会規定 以下の項目については、本大会の規定を定める。

① 競技のフィールド

フィールドサイズ： 固定しない（縦60～68m、横40～50m程度）

※但し、フィールドサイズは、68m×50mの大きさを推奨する。

ペナルティエリア： ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ12m、その地点から
ゴールラインに直角12m

ゴールエリア： ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ4m、その地点から
ゴールラインに直角4m

センターサークルの半径： 7m

ペナルティアークの半径： 7m

ペナルティマーク： 8m

ゴールの大きさ： ゴールの内り 縦2.15m×横5m（少年用）（丸型、角型、簡易用ゴールも可とする。）

② ボール

アディダス（株）社製の（コネクト26 プロ キッズ 4号球：ADF430）とする。空気圧は0.8気圧とする。

③ 競技者の数

競技者の数：8名（6名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対5として敗戦したものとみなす。

試合中、怪我等により、6名に満たなくなった場合は、その時点で試合を終了し、同様の敗戦とみなす。）

交代要員の数：12名以内

交代を行うことができる数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

④ ベンチ入りするチーム役員の数：2名以上3名以下（これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会に

より懲罰を科す。）なお、1名以上がJFA公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有すること。

試合中、選手への戦術的指示は、JFA公認指導者サッカーライセンス所持者のみが行える。

ベンチには、選手・役員以外はいれない。

⑤ 審判員

（1）審判は3人制を採用する。第4審判員を1名をおく。

（2）審判は帯同審判制を採用し、参加チームにおいては大会運営の協力を義務付ける。

（3）審判は各チーム2名とする。

有資格であれば、資格（3級・4級）は問わないが、4級審判は主審・副審ともに一定の経験を有する者とする。

（4）審判は審判着を着用する。

（5）（3級条項につき、本大会では適用外）

（6）審判証を本部へ提示すること。（写真の表示が無いものは無効とする。）

（7）審判は担当する試合20分前から5分間の審判ミーティングを義務づける。

（8）主審を行った者は、審判報告書の提出を行うこと。

（9）宮古・八重山地区においては、審判の帯同を免除する。（大会本部にて割当を行う。）

⑥ テクニカルエリア

設置する。

⑦ 競技者の用具・ユニフォーム

（1）本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、
いずれかを着用しなければならない。

（ただし、ゴールキーパーのピブス着用を認める。ユニフォームは選手固有の登録番号とし、ピブスの番号は問わない。）

（2）正・副の2色については明確に異なる色とする。（通常、審判が着用する黒色、紺色などは認められない）

（3）ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば
着用することができる。

（4）選手番号は選手固有の登録番号をシャツの前面及び背面に付し、判別の明確な色彩及びサイズで
あること。また、台地に貼付けた番号についてはシャツにしっかりと縫りつけ、はがれないようにすること。
台地の色は、ユニフォーム（シャツ）の色、もしくは白色のいずれかを認める。

（5）広告の入ったユニフォームの着用は認めない。しかし、所定の手続きを完了した物についてはその限りでない。
又、各国代表レプリカユニホームを着用する場合も代表エンブレム（マーク）が入っている場合も同じである。

- (6) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同色系でも良いものとする。
(ただし、本項(1)によりゴールキーパーユニフォームとして登録されていること。)
(本大会規定として、ゴールキーパーのピブスでの参加を認める。)
- (7) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、
両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (8) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスの
それぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (9) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色で
なくても良い。
- (10) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (11) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (12) 試合後にペナルティマークからのキックにより勝者を決定する場合のユニフォームは以下の通りとする。
《試合中のフィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合》
ゴールキーパーとなる選手は、選手固有の番号を付けた、サブユニフォーム(試合で使用していないユニフォーム)
の上着のみ着用して出場することができる。選手固有の番号を付けたゴールキーパーユニフォームを着用する場合に
おいても、上着のみ着用して出場することができる(本大会規定として、ゴールキーパーのピブスでの参加を認める。)
《試合中のゴールキーパーがフィールドプレーヤーを行う場合》
ゴールキーパーユニフォームのまま出場することができる。(フィールドプレーヤーユニフォームを着用する必要はない)
- (13) ベンチ入りしている交代要員は、フィールドでプレーしている色彩と異なるピブスやジャージ等を着用すること。
- (14) ユニフォームへの広告表示については、JFAの規定に基づくものでなければならず、選手・役員登録時までに
JFAの承認を受けている場合のみ認められる。(承認結果は、承認後、4種委員会へ提示すること。)
- (15) ソックスについて、セパレート履きの場合はショートソックスはカーフソックスと同系色とする。
- (16) ゴールキーパーのピブスについて、企業名等、広告表示となる表記があるものは認められない。
ただし、メーカーロゴ等、通常ユニフォームにおいても許容されるワンポイントマークは認められる。
ゴールキーパーのピブス使用を予定しているチームは、色彩が他のプレーヤーと重複しないよう、複数色の準備を行うこと。
ベンチで交代選手が着用するピブスに関しては、広告表示の有無を問わない。

⑧ 試合時間

- (1) 試合時間は30分(前後半各15分)とする。
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則5分間とする。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合
予選ラウンド：引き分けとする。
決勝ラウンド：ペナルティキック方式により次戦進出チームおよび優勝チームを決定する。
ペナルティキック方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。

⑨ 交代の手続き

- (1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の
最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上で、どこからフィールドを離れてもよい。
- (2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- (3) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- (4) フィールドプレーヤーの交代は、審判員に承認を得る必要はない。
- (5) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、アウトオブプレー中に交代することができる。

⑩ 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、役員のうち、最大2名がフィールドへの入場を許可される。

⑪ マッチコーディネーションミーティング

実施しない

- ⑫ グリーンカード
グリーンカードを推奨する。
- ⑬ セレモニー
実施しない
- ⑭ アディショナルタイムの表示
実施しない
- ⑮ 飲水
飲水タイム、またはクーリングブレイクの有無を事前（前・後半開始前）に両チームへ審判より通告する。

17 懲罰規定

- ① 本大会はJFA「懲罰規定」に則り、大会規律・フェアプレー委員会を設ける。
- ② 大会規律・フェアプレー委員会の委員長は、4種委員会委員長とし、委員は、4種委員会副委員長・審判部長、本大会運営責任者、会場運営主任とする。
- ③ 次の選手・役員の処置については、大会規律・フェアプレー委員会にて裁定する。
 - ・同一試合で警告を2度受けた選手及び退場処分を受けた選手・役員。
 - ・本大会累積警告が2枚の選手・役員。
- ④ レッドカードでの退場選手・役員に関して、次試合以降の処置については、大会規律・フェアプレー委員会にて裁定する。
選手が退場を命じられた場合は、その選手のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑤ レッドカードでの退場選手は、退場の対象となった試合については、コート本部で待機する。
- ⑥ JFA諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律・フェアプレー委員会にて裁定する。

18 大会参加申込

- ① 各地区4種委員は、地区大会開始概ね1ヶ月前までに、「参加チーム」を取りまとめ、4種委員会事務局へ報告すること。
これにより、4種委員会事務局より、「参加チーム」へ選手登録依頼が行われる。
「参加チーム」は依頼を受けたのち、JFA WEB登録システム「KICKOFF」にて必要事項を入力の上、参加申込手続き（選手・役員登録）を行うこととする。本手続は地区大会時に行い、県大会時の変更は不可とする。
なお、複数チームが参加する加盟チームにおいては、監督は兼務できないため、必ず他の役員のうち1名を監督とすること。
- ② 登録選手は最大20名、登録役員は最大10名とする。（登録役員はベンチ入りする可能性がある役員のみとし、運営員、審判員は登録の必要はない。）
- ③ 登録選手は参加申込期限までに、加盟チームへの新規登録・移籍登録が完了している選手であること。
- ④ 参加申込期限は、『大会期日』に記載の通りとする。
- ⑤ 参加申込後の選手・役員の変更、選手背番号の変更は原則認めない。
- ⑥ 各地区4種委員は、地区大会終了後、県大会参加チームの「チーム名」「地区大会順位」を4種委員会事務局へ速やかに報告すること。（各地区の県大会参加チーム数は事前に事務局より各地区へ通達済みとする。）
- ⑦ エントリー表は、「KICKOFF」での申込みにより、4種委員会にて作成・配布される。
参加チームは、配布されたエントリー表に必要事項を記載し、大会当日、受付において提出すること。
- ⑧ 参加選手は健康であり、且つ、保護者の同意を得ていること。

19 参加料

沖縄県大会 13,000円

各地区における参加チームが確定後、速やかに、協会指定振込用紙にて、地区で一括して振り込むこと。

20 表彰

- ① 各ブロックの優勝、準優勝、及び、3位チームを表彰する。（3位決定戦は行わない）
表彰は各ブロック終了後、閉会式にて行う。（3位表彰は準決勝終了後に行う）
- ② 各ブロックの優勝チームは、2027年3月に熊本県にて開催予定の、九州地域ジュニアU-10サッカーフェスティバルに推薦する。

21 ベンチ

- ① ベンチ入りする役員は、試合に参加するすべての関係者（審判、選手、運営スタッフなど）にリスペクトを持つことを義務付ける。指導者の言動により、関係者、観客が不快な感情を持つことのないよう、良識のある言動を義務づける。
- ② 自チームの選手であっても、1人の人格を持った人間であることを強く意識し、指導を行うこと。
上記が順守されていないと、審判、運営スタッフが判断した行為については、試合中に限らず、該当役員へ警告を行う。
また、その内容によっては、ベンチからの退席指示、フェアプレー委員会による懲罰検討の対象とする。
- ③ ベンチ入り役員が審判の判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声を浴びせる等のネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
- ④ ウェルフェアオフィサー：サッカーを楽しむ大前提である安心・安全を守る担当者（＝ウェルフェアオフィサー）を配置する。
サッカーにおける暴力根絶を目指し、ベンチ入り役員と試合の講評の伝達、意見交換等を行う。

22 その他

- ① 荒天時（強風、大雨、雷雨等）により試合続行が不可能と判断された際は、試合を停止し、天候が回復次第、残り時間を再開する。詳細は、項目⑨、⑩に規定する。
（試合開始前は大会本部にて、開始後は主審の判断にて決定する。）
- ② ケガについては各チームにて応急処置を行う。
- ③ 大会中におけるケガや賠償金が発生する損害については、当事者で解決すること。
- ④ 使用する施設・設備を大切にし、マナーを厳守すること。
- ⑤ 貴重品の管理・ゴミの持ち帰りは、各チームの責任で行うこと。
- ⑥ 飲水タイム、またはクーリングブレイクについては、大会当日の天候により主審の判断にて行う。
- ⑦ 試合会場では他競技も実施されるため、駐車場が非常に混み合うが、一般道での路上駐車、一時駐車は厳禁とする。
また、マイクロバス等の大型車両で来場するチームは各々で駐車場を確保すること。
選手・役員車の乗降、荷物の上げ下ろしなどは、駐車場内で行うよう徹底すること。
- ⑧ 大会参加チームは、大会期間中、4種委員会および4種委員会が許可した団体により撮影された動画・画像は4種委員会の広報活動において使用・販売されることを許諾したものと見なす。
- ⑨ 落雷に関して、試合開始・試合実施が困難な場合の取り決めは、下記の通りとする。
 - (1) 試合開始前
 - (a) 試合開始時において、雷の発生（予報）により、試合成立が困難と判断した場合には、試合を開始せずに、60分間天候状況を確認する。
 - (b) 60分間天候状況を確認して、なお、状況が変わらない場合においては、大会本部（会場責任者）が中止を決定する。
 - (c) どうしても当日中に勝敗を決定しなければいけない場合には、大会本部にて抽選で勝敗を決定する。
 - (2) 試合中
 - (a) 審判が雷の発生により、試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止する。
 - (b) 大会本部（会場責任者）が雷の発生により、試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止するよう審判に勧告するものとする。
 - (c) 再開の目処として、雷が完全に鳴り止んでから30分間状況を確認する。30分間経過後も雷が鳴り止まない場合には大会本部（会場責任者）にて「更に中断を続行するか?」、「大会を中止するか?」について判断を行う。
 - (d) 中断の時間は最長60分間を限度とする。60分経過後に試合再開が不可能な場合は試合中止とし再試合を行う。ただし、試合の3/4が経過している場合（※1）、試合成立とし、再試合は行わない。再試合の実施は、次の基準に従う。
 - (i) 中止試合の前半が終了していない：
中止試合の状況(時間・得点)は引き継がず、前半開始からの再試合とする。
 - (ii) 中止試合の前半は終了し、3/4が終了していない：
中止試合の状況(時間・得点)を引継ぎ、中止時点からの再試合とする。
 - (iii) 中止試合の3/4が終了しており試合は成立しているが、同点の場合：
次試合に進出するチームを決定する、または順位を決定する必要がある場合、大会本部において抽選で勝敗を決定する。

※1 15分ハーフの試合の場合、後半7分30秒を経過している場合、試合成立とする。

 - (e) (d) の状況において、どうしても当日中に勝敗を決定しなければならず、再試合が不可の場合、中断した時点での状況および得点にて勝敗を決定する。
 - (i) 中止試合の3/4が終了していない：
試合は不成立とし、大会本部において抽選で勝敗を決定する。
 - (ii) 中止試合の3/4が終了している、かつ同点である：
試合は成立とし、大会本部において抽選で勝敗を決定する。
- ⑩ その他何らかの要因によって、試合開始及び試合続行が困難な場合の取り決めは、下記の通りとする。
 - (1) ⑨の「落雷に関して」に準ずる。
 - (2) 但し、「生命に危険性がない」と判断される場合においては、大会本部（会場責任者）の判断にて柔軟な対応を行う。対応に関して、参加チームからの異議は受け付けない。